

実質化された人・農地プラン

| | | | |
|------|--------|-----------|-----------|
| 市町村名 | 対象地区名 | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
| 宇都宮市 | 雀宮東部地区 | 令和3年3月29日 | 令和5年3月17日 |

1 対象地区の現状

| | |
|---|--------|
| ①地区内の耕地面積 | 204 ha |
| ②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 | 151 ha |
| ③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計 | 84 ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 52 ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 22 ha |
| ④地区内において今後中心経営体及び農地の守り手・支え手が新たに耕作する意向のある面積の合計 | 17 ha |
| (備考) | |

2 対象地区の課題

基盤整備が未実施の地域があり、中心経営体への農地の集積・集約化が困難な状況であるため、畦畔撤去での大区画化を含めた基盤整備が必要である。

また、後継者不足であるため、地域内で農地の維持・管理をするためにも、後継者を育てる環境づくりが必要である。

3 対象地区内における中心経営体等への農地の集約化等に関する方針

《中島集落》

後継者不足であるため、当面は現在の中心経営体を柱に担っていくことになるが、将来的に中心経営体の集積率を向上できるような大区画化等の提案も関係機関と連携しながら進めていく。

《東谷集落》

耕作条件が悪い圃場があるため、農道の確保等、基盤整備を促進しながら、集落内の担い手が生まれる環境づくりを進めると同時に、地区外の中心経営体の協力を得ながら地域振興を図っていく。

《下横田集落》

基盤整備が済んでいるため、条件がよく中心経営体も担いやすいが、後継者不足であるため、地区外の中心経営体と共に担っていく。また、隣の雀宮中部地区とも連携を取りながら、担い手への集積を図っていく。

中心経営体

| 属性 | 農業者 (氏名・名称) | 現状 | | 計画 | | 備考 | |
|-----|----------------|--------|--------|---------|---------|---------|--|
| | | 経営作目 | 経営面積 | 経営作目 | 経営面積 | | |
| 認農 | | 水稲 | 8.0 ha | 水稲 | 10.0 ha | 他地区あり | |
| 認農法 | | 野菜 | 0.7 ha | 野菜 | 1.5 ha | 他地区あり | |
| 認農 | | 水稲, 麦 | 3.4 ha | 水稲, 麦 | 6.0 ha | 他地区あり | |
| 認就 | | 野菜 | 0.3 ha | 野菜 | 0.6 ha | 他地区あり | |
| 認農 | | 水稲 | 1.0 ha | 水稲 | 1.0 ha | 他地区あり | |
| 認就 | | 野菜 | 0.3 ha | 野菜 | 0.7 ha | | |
| 認農法 | | 苺 | 0.2 ha | 苺 | 1.0 ha | | |
| 認農 | | 水稲 | 2.0 ha | 水稲, 麦 | 3.0 ha | 他地区あり | |
| 認就 | | 苺 | 0.1 ha | 苺 | 0.2 ha | | |
| 認農 | | 水稲, 野菜 | 1.0 ha | 水稲, 野菜 | 1.8 ha | | |
| 計 | | 10 人 | | 17.0 ha | | 25.8 ha | |

農地の守り手・支え手

| 属性 | 農業者 (氏名・名称) | 現状 | | 計画 | | 備考 |
|----|----------------|--------|---------|--------|---------|-------|
| | | 経営作目 | 経営面積 | 経営作目 | 経営面積 | |
| | | 水稲 | 0.3 ha | 水稲 | 0.3 ha | |
| | | 水稲 | 3.0 ha | 水稲 | 3.0 ha | |
| 認農 | | 水稲, 野菜 | 3.0 ha | 水稲, 野菜 | 4.0 ha | |
| 認農 | | 水稲 | 1.5 ha | 水稲 | 3.0 ha | |
| | | 水稲 | 2.0 ha | 水稲 | 2.0 ha | |
| | | 水稲 | 4.0 ha | 水稲 | 6.0 ha | |
| | | 水稲 | 2.3 ha | 水稲 | 2.3 ha | |
| | | 水稲 | 2.5 ha | 水稲 | 2.5 ha | |
| | | 水稲 | 0.8 ha | 水稲 | 0.8 ha | |
| | | 水稲 | 1.7 ha | 水稲 | 1.7 ha | |
| | | 水稲 | 1.1 ha | 水稲 | 1.1 ha | |
| | | 水稲 | 3.0 ha | 水稲 | 5.0 ha | |
| | | 水稲 | 2.1 ha | 水稲 | 2.5 ha | 他地区あり |
| | | 水稲 | 4.3 ha | 水稲 | 4.3 ha | |
| | | 水稲 | 1.4 ha | 水稲 | 1.4 ha | |
| 認農 | | 水稲, 野菜 | 5.1 ha | 水稲, 野菜 | 6.0 ha | |
| 計 | 16 人 | | 38.1 ha | | 45.9 ha | |

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地中間管理機構の活用方針

農地の貸し借りについては、将来の経営農地の集約化を目指し、積極的に機構を通じた貸し付けを進めていく。

基盤整備への取組方針

基盤整備がされていないため、農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るとともに、他地区からの担い手の受け入れに備えて、農地の大区画化等の基盤整備に取り組む。

高収益作物の導入方針

土地利用型作物以外に、収益性の高い露地野菜等の生産導入について検討していく。